



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 デリカフーズホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3392 URL <https://www.delica.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大崎 善保
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 仲山 紺之 TEL 03-3858-1037
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	62,219	5.9	2,109	161.9	2,172	145.7	1,515	179.6
2025年3月期	58,762	11.2	805	△29.0	884	△29.7	542	△46.5

(注) 包括利益 2026年3月期 1,573百万円(207.7%) 2025年3月期 511百万円(△55.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	93.38	—	15.6	7.7	3.4
2025年3月期	33.26	—	6.1	3.2	1.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	29,514	10,433	35.4	642.33
2025年3月期	26,640	9,030	33.9	557.32

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,433百万円 2025年3月期 9,030百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,155	△1,833	58	4,914
2025年3月期	3,797	△812	△3,417	3,533

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	194	36.1	2.2
2026年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	406	26.8	4.2
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	27.00	27.00		25.1	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	3.9	1,000	△18.6	1,050	△16.6	750	△10.9	46.17
通期	67,000	7.7	2,400	13.8	2,550	17.4	1,750	15.5	107.73

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 1社(社名) 農業法人デリカファーム株式会社、除外 1社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

	2026年3月期	16,372,000株	2025年3月期	16,372,000株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	128,328株	2025年3月期	168,605株
② 期末自己株式数	2026年3月期	16,228,996株	2025年3月期	16,293,851株
③ 期中平均株式数				

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,083	26.2	227	154.0	239	143.4	234	143.4
2025年3月期	858	6.4	89	△30.8	98	△31.7	96	△15.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	14.45	—
2025年3月期	5.91	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,992	4,829	96.7	297.31
2025年3月期	4,870	4,765	97.8	294.08

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,829百万円 2025年3月期 4,765百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
4. その他	18
(1) 最近における四半期毎の業績推移	18
(2) 部門別売上高の状況	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年4月1日～2026年3月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復傾向を続けました。その一方で、海外における政治経済情勢の不透明感、地政学的リスクの長期化に加え、国内におきましても物価高や円安基調の継続、金融資本市場の変動の影響、個人消費の伸び悩みなど、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客である外食産業においては、好調なインバウンド消費の寄与、客単価の上昇傾向もあって、需要は引き続き堅調に推移していますが、慢性的な人手不足による人件費の上昇、物流費の高止まり、物価高に起因する消費者の節約志向、食料品の消費税率見直しなど、業界を取り巻く経営環境は予断を許さない状況が続いています。

こうしたなか、当社は青果物加工流通分野において野菜の価値を追求し、未来に向けた「持続可能な農業」と「食を通じた健康増進」を実現する付加価値創造企業として、社会課題の解決と企業の成長を同時に追求してまいりました。2024年5月には「第五次中期経営計画 keep on trying 2027」を発表し、「各種ポートフォリオの変革」「青果物サプライチェーンの構造変革」「研究部門・開発部門への投資拡大」を基本方針に、数々の具体的な施策展開を推進しております。

当連結会計年度において、当社グループは外食需要の堅調な推移や省力化ニーズの高まりを捉えることで、引き続き着実に売上を伸ばしました。主業である青果物流通事業を担うデリカフーズ㈱において、継続的に取引業種バランスの最適化を図りながら、新たな取引先ニーズへの積極的な対応を進めました。また、消費者向けミールキットを手掛ける楽彩㈱を中心に、BtoC事業の拡充も推し進めました。物流部門を担うエフェスロジスティクス㈱も、新規開拓によるグループ外売上の拡大に努めました。以上の結果、当連結会計年度における売上高は、62,219百万円（前期比5.9%増）と4年連続で過去最高を更新しました。

一方、損益面も増収に伴い堅調な推移を続けました。青果物事業では、一部品目で猛暑を背景とする価格高騰の影響はあったものの、今年度から始まった本部集中仕入制度の奏功もあり調達コスト・在庫の厳格管理、廃棄ロスの削減が進んだこと、人員配置・物流の最適化など現場オペレーションの効率化を一層図ったことで市況変動に適切に対応いたしました。以上の結果、当連結会計年度の営業利益は2,109百万円（前期比161.9%増）、経常利益は2,172百万円（前期比145.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,515百万円（前期比179.6%増）と、いずれも大幅な増益となり過去最高を更新しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①青果物事業

当セグメントの売上高は、インバウンドを含めた外食需要の堅調な推移、人手不足を背景とするカット野菜需要の高まりに加え、グループ総合力を活かした提案型営業の強化を図った結果、売上高は60,976百万円と前期比3,134百万円(5.4%)の増収となりました。当セグメントの利益につきましては、増収効果に加え、各種施策により仕入価格の安定化が図られたことから、セグメント利益(経常利益)は2,033百万円と前期に比べ1,206百万円(145.8%)の大幅増益となりました。

②物流事業

当セグメントの売上高は、主要な荷主であるデリカフーズ(株)の売上高が順調に推移し、加えてグループ以外への販売も強化したことから、5,421百万円と前期に比べ524百万円(10.7%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、各種コスト削減をはじめとする効率化に努めたものの、2026年4月から稼働を開始した東海マザーセンターにかかる家賃の先行負担等の影響で120百万円と前期に比べ21百万円(15.1%減)の減益となりました。

③研究開発・分析作業

当セグメントの売上高は、受託分析事業の獲得が伸び悩んだことを主因として、73百万円と前期と比べ16百万円(18.4%減)の減収となりました。また、セグメント損失(経常損失)は、人件費負担増の影響が大きく、12百万円(前期は12百万円のセグメント利益(経常利益))となりました。

④持株会社

当セグメントの売上高は、1,083百万円と前期と比べ225百万円(26.2%)の増収となりました。セグメント利益(経常利益)は、239百万円と前期と比べ140百万円(143.4%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ17.1%増加し、12,401百万円となりました。これは、主として、現金及び預金が増加したことなどにより増えました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6.7%増加し、17,113百万円となりました。これは、主として、建物及び構築物が増加したことなどにより増えました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて10.8%増加し、29,514百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ32.3%増加し、11,102百万円となりました。これは、主として、短期借入金が増加したことなどにより増えました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ13.5%減少し、7,978百万円となりました。これは、主として、長期借入金が増加したことなどにより増えました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ8.4%増加し、19,081百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15.5%増加し、10,433百万円となりました。これは、主として、利益剰余金が増加したことなどにより増えました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、4,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,380百万円増加しました。当連結会計年度のキャッシュ・フローの内容は概ね次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,155百万円の収入（前期は3,797百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額204百万円があったものの、税金等調整前当期純利益2,149百万円、減価償却費1,267百万円などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,833百万円の支出（前期は812百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,557百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、58百万円の収入（前期は3,417百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,587百万円、配当金の支払いによる支出193百万円があったものの、短期借入金の純増額1,550百万円、長期借入金の借入れによる収入400百万円があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	27.2	31.0	30.3	33.9	35.4
時価ベースの自己資本比率(%)	34.9	36.0	33.5	30.7	49.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	14.0	6.8	8.2	2.8	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	28.7	44.6	35.1	47.9	31.2

自己資本比率：自己資本÷総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー÷利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経営環境は、世界経済の緩やかな回復基調にあるものの、常態化するインフレや金融不安、地政学リスクの増大など、大きな変化の渦中にあり、依然として予断を許さない状況です。

こうしたなか、中期経営計画の最終年度となる2027年3月期においても、基本方針の着実な実践により継続的に事業基盤の拡充に努めるとともに、物流部門を始めとするグループ総合力を発揮していくことで新たな企業価値の創造を通じた一層の売上拡大を目指してまいります。また、特に気候変動が収益に与える影響を抑制するべく、本部集中購買制度や仕入・在庫の厳格管理体制の定着に加え、貯蔵機能の強化など調達面の強化を進め、仕入コストの安定的なコントロールを実現いたします。加えて、人財の質・量両面における拡充の観点から処遇面の見直しを図る一方、生産面の効率化や業務上の無駄を排除する全社運動（1分割減プロジェクト）の推進などにより、収益体質の更なる強靱化も図ってまいります。

以上の取組みを推し進めることで、2027年3月期の業績につきましては、売上高67,000百万円、営業利益2,400百万円、経常利益2,550百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,750百万円と増収増益の見通しであり、売上高、営業利益、経常利益については過去最高を更新することを見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業としての成長に応じた安定的・継続的な株主還元を実施し、配当性向30%程度を目線として、累進的配当を堅持することを基本方針としております。また、当社は取締役会の決議によって中間配当を行うことができる旨を定めておりますが、原則として株主総会の決議による期末配当をもって剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

当期の利益配分につきましては、第五次中期経営計画における最終年度の定量目標を1年前倒しで達成したことを踏まえ、株主の皆様のご支援に感謝の意を表すため、1株当たり22円の普通配当に加えて1株当たり3円の記念配当を実施し、1株当たり25円の配当とする予定です。

今後につきましても、先行き不透明な状況が継続する中ではありますが、安定した累進的配当を実現しつづけることが会社の持続的な成長並びに株主様の利益に資するものと判断しております。次期の配当金につきましては、グループ全体の利益水準、成長戦略投資計画ならびに財務体質の健全性維持などを総合的に考慮した上で、1株当たり27円の予定とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、その業務をほぼ日本国内において行っており、海外での活動は少ないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,716,137	5,339,295
売掛金	6,155,637	6,190,504
商品及び製品	331,149	370,105
仕掛品	16,207	17,067
原材料及び貯蔵品	166,516	169,233
その他	219,325	319,025
貸倒引当金	△10,327	△4,088
流動資産合計	10,594,645	12,401,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,110,848	8,606,344
機械装置及び運搬具（純額）	2,130,541	2,553,068
土地	3,914,760	3,917,960
リース資産（純額）	235,787	189,389
建設仮勘定	65,879	34,069
その他（純額）	192,088	216,294
有形固定資産合計	14,649,904	15,517,126
無形固定資産		
その他	64,364	50,272
無形固定資産合計	64,364	50,272
投資その他の資産		
投資有価証券	699,354	846,569
長期貸付金	192,474	174,681
投資不動産	119,320	119,320
繰延税金資産	27,674	41,690
その他	294,991	371,978
貸倒引当金	△1,762	△7,937
投資その他の資産合計	1,332,052	1,546,303
固定資産合計	16,046,322	17,113,702
資産合計	26,640,967	29,514,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,059,851	3,008,706
短期借入金	650,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,587,727	1,686,651
リース債務	103,873	101,190
未払法人税等	134,805	672,033
未払金	2,536,739	3,024,876
未払費用	95,887	119,466
賞与引当金	163,290	222,091
役員賞与引当金	—	23,953
その他	59,151	43,675
流動負債合計	8,391,326	11,102,645
固定負債		
長期借入金	8,116,038	6,829,387
リース債務	198,927	145,333
退職給付に係る負債	211,378	236,834
資産除去債務	541,229	651,249
繰延税金負債	114,046	59,446
その他	37,514	56,188
固定負債合計	9,219,134	7,978,439
負債合計	17,610,461	19,081,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,363	1,772,363
資本剰余金	2,588,508	2,595,360
利益剰余金	4,454,159	5,775,191
自己株式	△71,974	△54,780
株主資本合計	8,743,056	10,088,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261,487	349,019
退職給付に係る調整累計額	25,962	△3,393
その他の包括利益累計額合計	287,449	345,626
純資産合計	9,030,506	10,433,760
負債純資産合計	26,640,967	29,514,846

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	58,762,579	62,219,157
売上原価	44,407,102	45,874,268
売上総利益	14,355,477	16,344,889
販売費及び一般管理費	13,549,843	14,235,230
営業利益	805,633	2,109,658
営業外収益		
受取利息	4,451	11,719
受取配当金	7,046	7,769
物品売却益	31,720	33,630
助成金収入	23,669	19,062
受取賃貸料	58,222	52,612
その他	49,837	43,071
営業外収益合計	174,947	167,866
営業外費用		
支払利息	79,342	101,166
その他	17,023	3,663
営業外費用合計	96,366	104,830
経常利益	884,215	2,172,694
特別利益		
固定資産売却益	3,441	1,525
投資有価証券売却益	—	52
補助金収入	—	40,000
特別利益合計	3,441	41,577
特別損失		
固定資産除却損	3,365	24,406
固定資産売却損	7,399	—
固定資産圧縮損	—	40,000
解約違約金	12,000	—
特別損失合計	22,765	64,406
税金等調整前当期純利益	864,891	2,149,866
法人税、住民税及び事業税	247,749	738,312
法人税等調整額	75,127	△103,919
法人税等合計	322,877	634,393
当期純利益	542,013	1,515,473
親会社株主に帰属する当期純利益	542,013	1,515,473

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	542,013	1,515,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,879	87,532
退職給付に係る調整額	38,260	△29,356
その他の包括利益合計	△30,619	58,176
包括利益	511,394	1,573,649
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	511,394	1,573,469
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,772,363	2,573,208	4,107,540	△20,321	8,432,790
当期変動額					
剰余金の配当			△195,394		△195,394
親会社株主に帰属する当期純利益			542,013		542,013
自己株式の取得				△61,800	△61,800
自己株式の処分		15,300		10,147	25,447
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	15,300	346,619	△51,652	310,266
当期末残高	1,772,363	2,588,508	4,454,159	△71,974	8,743,056

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	330,366	△12,297	318,068	8,750,858
当期変動額				
剰余金の配当				△195,394
親会社株主に帰属する当期純利益				542,013
自己株式の取得				△61,800
自己株式の処分				25,447
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,879	38,260	△30,619	△30,619
当期変動額合計	△68,879	38,260	△30,619	279,647
当期末残高	261,487	25,962	287,449	9,030,506

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,772,363	2,588,508	4,454,159	△71,974	8,743,056
当期変動額					
剰余金の配当			△194,440		△194,440
親会社株主に帰属する当期純利益			1,515,473		1,515,473
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分		6,851		17,193	24,045
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6,851	1,321,032	17,193	1,345,077
当期末残高	1,772,363	2,595,360	5,775,191	△54,780	10,088,134

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	261,487	25,962	287,449	9,030,506
当期変動額				
剰余金の配当				△194,440
親会社株主に帰属する当期純利益				1,515,473
自己株式の取得				—
自己株式の処分				24,045
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	87,532	△29,356	58,176	58,176
当期変動額合計	87,532	△29,356	58,176	1,403,254
当期末残高	349,019	△3,393	345,626	10,433,760

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	864,891	2,149,866
減価償却費	1,171,974	1,267,262
株式報酬費用	17,675	23,299
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△148	△64
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,685	58,801
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,059	23,953
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	47,605	△16,611
受取利息及び受取配当金	△11,497	△19,489
支払利息	79,342	101,166
助成金収入	△23,669	△19,062
補助金収入	—	△40,000
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△52
固定資産除却損	3,365	24,406
固定資産売却損益 (△は益)	3,957	△1,525
固定資産圧縮損	—	40,000
売上債権の増減額 (△は増加)	100,574	△34,771
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72,900	△42,533
仕入債務の増減額 (△は減少)	233,446	△51,144
未払金の増減額 (△は減少)	472,501	△159,104
その他	△118,878	81,059
小計	2,750,867	3,385,454
利息及び配当金の受取額	11,497	19,489
補助金の受取額	1,347,577	40,000
助成金の受取額	31,076	15,590
利息の支払額	△79,342	△101,166
法人税等の支払額	△263,863	△204,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,797,811	3,155,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△882,123	△1,557,445
有形固定資産の売却による収入	3,691	1,950
無形固定資産の取得による支出	△21,962	△8,222
投資有価証券の取得による支出	△5,710	△11,743
投資有価証券の売却による収入	—	128
定期預金の預入による支出	△200,020	△240,034
定期預金の払戻による収入	300,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,664	△36,729
その他	△4,116	18,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△812,906	△1,833,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,550,000	1,550,000
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△2,002,942	△1,587,727
自己株式の取得による支出	△61,800	—
リース債務の返済による支出	△108,239	△109,594
配当金の支払額	△194,385	△193,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,417,366	58,969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△432,460	1,380,599
現金及び現金同等物の期首残高	3,966,293	3,533,832
現金及び現金同等物の期末残高	3,533,832	4,914,432

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社である当社の傘下に、青果物事業を担う子会社4社、物流事業を担う子会社1社及び研究開発・分析事業を担う子会社1社を有し、各事業ごとに戦略を立案し、事業活動を行っております。

従って、「青果物事業」、「物流事業」、「研究開発・分析事業」及び「持株会社」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。セグメント間の内部取引及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務 諸表計上額 (注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・ 分析事業	持株会社	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	57,832,739	847,911	81,928	—	58,762,579	—	58,762,579
外部顧客への売上高	57,832,739	847,911	81,928	—	58,762,579	—	58,762,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,000	4,048,723	7,625	858,183	4,924,531	△4,924,531	—
計	57,842,739	4,896,635	89,553	858,183	63,687,111	△4,924,531	58,762,579
セグメント利益	827,360	141,653	12,333	98,261	1,079,609	△195,394	884,215
セグメント資産	23,964,147	1,205,488	92,783	4,870,027	30,132,447	△3,491,479	26,640,967
セグメント負債	18,578,156	998,565	18,177	100,016	19,694,915	△2,084,454	17,610,461
その他の項目							
減価償却費	1,029,838	131,536	—	10,599	1,171,974	—	1,171,974
受取利息	3,357	201	37	6,578	10,175	△5,724	4,451
支払利息	83,855	1,211	—	—	85,067	△5,724	79,342
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	838,403	134,132	13,917	5,073	991,525	—	991,525

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△195,394千円は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△3,491,479千円は、セグメント間における投資と資本の相殺消去△1,407,025千円、債権と債務の相殺消去△2,084,454千円が含まれております。
 - (3) セグメント負債の調整額△2,084,454千円は、セグメント間における債権と債務の相殺消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務 諸表計上額 (注)2
	青果物事業	物流事業	研究開発・ 分析事業	持株会社	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	60,968,557	1,201,176	49,423	—	62,219,157	—	62,219,157
外部顧客への売上高	60,968,557	1,201,176	49,423	—	62,219,157	—	62,219,157
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,324	4,219,936	23,647	1,083,409	5,335,318	△5,335,318	—
計	60,976,882	5,421,113	73,070	1,083,409	67,554,475	△5,335,318	62,219,157
セグメント利益又は損失(△)	2,033,845	120,276	△12,355	239,151	2,380,917	△208,223	2,172,694
セグメント資産	26,179,240	2,480,271	79,762	49,992,453	33,731,727	△4,216,881	29,514,846
セグメント負債	19,374,731	2,246,920	25,059	164,230	21,810,941	△2,729,856	19,081,085
その他の項目							
減価償却費	1,096,642	161,210	—	9,409	1,267,262	—	1,267,262
受取利息	7,127	1,170	109	9,296	17,704	△5,984	11,719
支払利息	104,134	3,016	—	—	107,151	△5,984	101,166
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	971,199	1,213,564	7,901	9,980	2,202,646	—	2,202,646

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△208,223千円は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産の調整額△4,216,881千円は、セグメント間における投資と資本の相殺消去△1,487,025千円、債権と債務の相殺消去△2,729,856千円が含まれております。
 - (3) セグメント負債の調整額△2,729,856千円は、セグメント間における債権と債務の相殺消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	557.32円	642.33円
1株当たり当期純利益	33.26円	93.38円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	542,013	1,515,473
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	542,013	1,515,473
普通株式の期中平均株式数(株)	16,293,851	16,228,996

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,030,506	10,433,760
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	9,030,506	10,433,760
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数(株)	16,203,395	16,243,672

4. その他

(1) 最近における四半期毎の業績推移

2026年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	15,154,190	15,655,998	16,041,001	15,367,967
営業利益	941,945	286,878	481,331	399,503
経常利益	955,399	303,254	492,455	421,584
親会社株主に帰属する 四半期純利益	647,329	194,731	282,255	391,157
1株当たり四半期純利益	39.95円	12.00円	17.35円	23.99円
総資産	28,263,621	28,664,036	29,389,507	29,514,846
純資産	9,506,317	9,741,844	10,033,650	10,433,760
1株当たり純資産	586.69円	599.73円	617.70円	642.33円

2025年3月期(連結)

(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	13,606,629	14,449,416	15,448,631	15,257,902
営業利益又は損失(△)	32,659	△144,258	286,931	630,301
経常利益又は損失(△)	54,179	△128,043	305,887	652,191
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は損失(△)	19,104	△85,480	191,457	416,932
1株当たり四半期純利益 又は損失(△)	1.17円	△5.24円	11.73円	25.64円
総資産	27,862,016	27,701,735	29,022,340	26,640,967
純資産	8,497,893	8,465,175	8,642,757	9,030,506
1株当たり純資産	521.89円	518.59円	529.47円	557.32円

(2) 部門別売上高の状況

	2025年3月期 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)		2026年3月期 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)		比較増減 (千円)	比較増減 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)		
カット野菜部門	25,225,407	42.9	27,210,772	43.7	1,985,364	7.9
ホール野菜部門	23,687,083	40.3	24,529,108	39.4	842,024	3.6
その他部門	9,850,088	16.8	10,479,276	16.9	629,188	6.4
合計	58,762,579	100.0	62,219,157	100.0	3,456,578	5.9